

全国安全週間に併せて労働災害防止の取組を要請しました

水戸労働基準監督署

1 水戸北部中核工業団地（常陸大宮市）の事業場へ労働災害防止の取組を要請



労働災害防止のより一層の取組を要請する佐川署長

工業団地連絡協議会が主催する「安全週間の集い（安全大会）」が7月4日に開催され、水戸労働基準監督署の佐川署長が、急増する労働災害の現状を説明し、労働災害防止の取組を要請しました。

水戸労働基準監督署管内の労働災害は、全産業で257件（5月末現在）発生し、前年同期比56件（+28%）の大幅な増加となっています。特に、社会福祉施設等の第三次産業の災害が急増しています。

2 建設現場の安全パトロールを実施



足場の墜落防止対策を確認している労働基準監督署の職員

水戸市内で行われている介護福祉施設の建築工事現場の安全パトロールを実施しました。水戸労働基準監督署の山口副署長と中島安全衛生課長が当該現場のパトロールを行い、開口部等からの墜落防止対策を重点に、手すりや中さんの取り付け状況を確認しました。また、梅雨が明け気温が急上昇していることから、熱中症の予防対策について、リーフレットを配布して注意喚起しました。